

H23 年度科学・技術関係予算概算要求 個別施策ヒアリング

【施策番号 20010：多様化する火災に対する安全確保に関する研究（総務省）】

- 1 日時：平成 22 年 9 月 27 日 18:00～18:30
- 2 場所：中央合同庁舎 4 号館 2 階 第 3 特別会議室
- 3 聴取者：相澤議員、奥村議員、大石審議官、廣木参事官
外部専門家 7 名（うち若手 2 名）
- 4 説明者：消防大学校消防研究センター 松原 研究統括官
- 5 施策概要

生活に密着した建物での多様化する火災危険性や燃焼性状の解明、実効性のある警報伝達技術の開発などを実施する。研究内容として次の 4 つのサブテーマからなる。

火災事例の調査などから火災のリスクなど、実態の分析を行う。建物の内装材など火災の促進要因と、消火に伴う生成物など燃焼性状の分析を行う。生活に密着した警報伝達手段の研究。赤外線カメラの使用など消火活動のための火災現場情報把握技術に関する研究。

6 質疑応答模様

【相澤議員】4 つのサブテーマのうち後半 2 つについてはどういう技術を使うか想定されているようだが、前半の 2 つは具体的に何を目標に研究開発していくのかわかりにくい。説明してほしい。

【消防庁】火災の実態について統計分析や事例調査を行い、近年の火災の発生傾向と家庭構成や経済状況などに相関があるかなどの分析を行う。多様化している火災の状況を分析することによってより効果的な防火対策・消火方法の確立に活かす。また行政施策として広報・キャンペーンにも役立てる。例えば、子供がライターを使った火遊びで火災が起こっている傾向は消防研の研究者が発見し、注意喚起がなされている。また、例えば昔はテレビのプラスチックは塩素の入ったプラスチックであったが、近年はゴミとして出したときに燃えるようにハロゲンを除いたプラスチックが使われていたりする。そのようなプラスチックや低反発枕などの素材が燃焼したときにどのように燃えるかなどの実験を行いデータを蓄積していく。

【奥村議員】消防研の研究員 26 人で、年間予算はどれくらいか？

【消防庁】研究費が 1.8 億円(要求)、施設維持費 2 億円、その他合わせて 5 億円弱です。

【奥村議員】今日提案されている 4 つの施策が消防研のすべての研究テーマなのか？

【消防庁】はい。

【奥村議員】特定のプロジェクトのように説明なさるので誤解してしまうが、これは消防研の研究の基礎となる予算を要求されているのですね。

【消防庁】はい、そうです。

【外部専門家】多様化する火災の中で基礎的なデータを国の機関として把握されることは重要なことだと思う。その後、行政施策の中にどのように生かしていくかを明確にやってほしい。高齢者の独身が一番危ない世帯であることは私もよくわかるが、火

災の観点だけでなく社会の施策としてどのように対処していくかイメージを提示していただけるといいと思う。火災そのものに関する教育と言う点でも、新しい知見を広報してほしい。

【外部専門家】ここにあるテーマはぜひ継続的にやってもらいたいテーマである。生活の実態の把握も大事なのでそれも視野に入れてやっていただけたらと思う。例えば、グループホームについてもあのような事故が起こってからでなく、起こる前から警鐘を鳴らしてほしい。

【消防庁】社会的背景、失業の問題も分析したいと考えている。潜在的な危険性のある建物や、危険性のある使い方についても分析の結果から得られると期待している。

【奥村議員】火災についても、年ごとに火災件数がどのように推移して（減って）きているのかなど紹介してから、研究施策を説明してもらったほうがよかった。あまりにも個別の施策から説明されてマクロ感がつかみにくかった。その点を改善して次回から説明資料を作ってもらえるようお願いしたい。

【消防庁】申し訳ありません。その点反省しています。

【相澤議員】今後のためのコメントであるが、今回の説明資料では研究開発という言葉が、ほかの省の表現とギャップがある。そのことは特殊性であって、悪いわけではないので、その位置づけを明確にしてほしい。

【外部専門家】この案件は実質的に国民にアピールすることが重要と思うがその費用は含まれているのか？例えばTVがよく燃えるということは知らないことなので、そのようなことは広く広報してもらいたい。

【消防庁】この要求額には広報費は含まれていない。最終年度にそれを含またいとは思っている。また、消防の業務の中で全国の消防署を通して行う広報活動費はあるのでその中でアピールしていきたい。おっしゃることは大変大事なことだと思います。ありがとうございます。

【奥村議員】TVのプラスチックが燃えやすくなってきていると言うのが本当かどうか、経産省などに確認して発言すべきで、確認された方がよいと思う。

【消防庁】私自身、軽率な表現だったかもしれません。確認させていただきます。

【外部専門家】多様化する火災をシミュレーションする技術の構築が書かれているが、もう少し具体的に何を行うか、共同研究を行う予定があるかなど聞きたい。

【消防庁】シミュレーションは今あるものにオプションを加えてより現実的なものとしていく。何が燃えたかと言うデータを用いて現実に即したシミュレーションを作っていく。家の中で燃え始めてどのようにガスが流れていくのか、などシミュレーションしたい。

以上